

# 【議題 3】

資 料	No.
	8

## 横浜港港湾計画の改訂 (説明資料)

- はじめに
- 主な検討経過
- 港湾計画改訂案
- 今後の予定

## はじめに

- 港湾計画とは、港湾の開発、利用及び保全等に関する港湾法に基づく計画であり、10年から15年程度の将来における目標貨物量や施設の規模、配置等を定めるものです。
- 今回、社会情勢や横浜港を取り巻く環境の変化を踏まえ、
  - I 国際コンテナ戦略港湾の早期実現
  - II 臨海部の賑わい創出
  - III 防災機能の強化などのため、改訂するものです。

# 主な検討経過

## 平成24年

8月29日 横浜市港湾審議会【改訂の進め方等】

10月26日 第1回検討部会【現況・課題の整理】

## 平成25年

3月21日 第2回検討部会【基本的な考え方・方向性】

7月29日 第3回検討部会【素案の整理①】

9月24日 第4回検討部会【素案の整理②】

10月29日 横浜市港湾審議会【検討状況等】

11月11日～12月10日 パブリックコメントの実施

## 平成26年

1月28日 第5回検討部会【改訂原案】

**今回 横浜市港湾審議会【改訂案】**

# 横浜港港湾計画改訂案の主な内容

主な内容	掲載箇所
<b><u>I. 国際競争力のある港</u></b>	
(1) 公共埠頭計画	計画書P7、資料(その1)P45
(2) 臨港交通施設計画	計画書P18、資料(その1)P82
(3) 国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた施策展開	資料(その1)P123
(4) ロジスティクス機能の強化	資料(その1)P127
<b><u>II. 市民が集い、憩う港</u></b>	
(1) 山下ふ頭の再開発	計画書P8、資料(その1)P111
(2) 旅客船埠頭計画	計画書P13、資料(その1)P61
(3) レクリエーション等活性化水域	計画書P34、資料(その1)P121
(4) 良好な景観を形成する区域	計画書P20、資料(その1)P94
<b><u>III. 安全・安心で環境にやさしい港</u></b>	
(1) 大規模地震対策施設計画	計画書P30、資料(その1)P107
(2) 港湾環境整備施設計画	計画書P21、資料(その1)P87
(3) 自然的環境を整備又は保全する区域	計画書P20、資料(その1)P92
(4) 港のスマート化	資料(その1)P128

# 横浜港港湾計画改訂案の主な内容

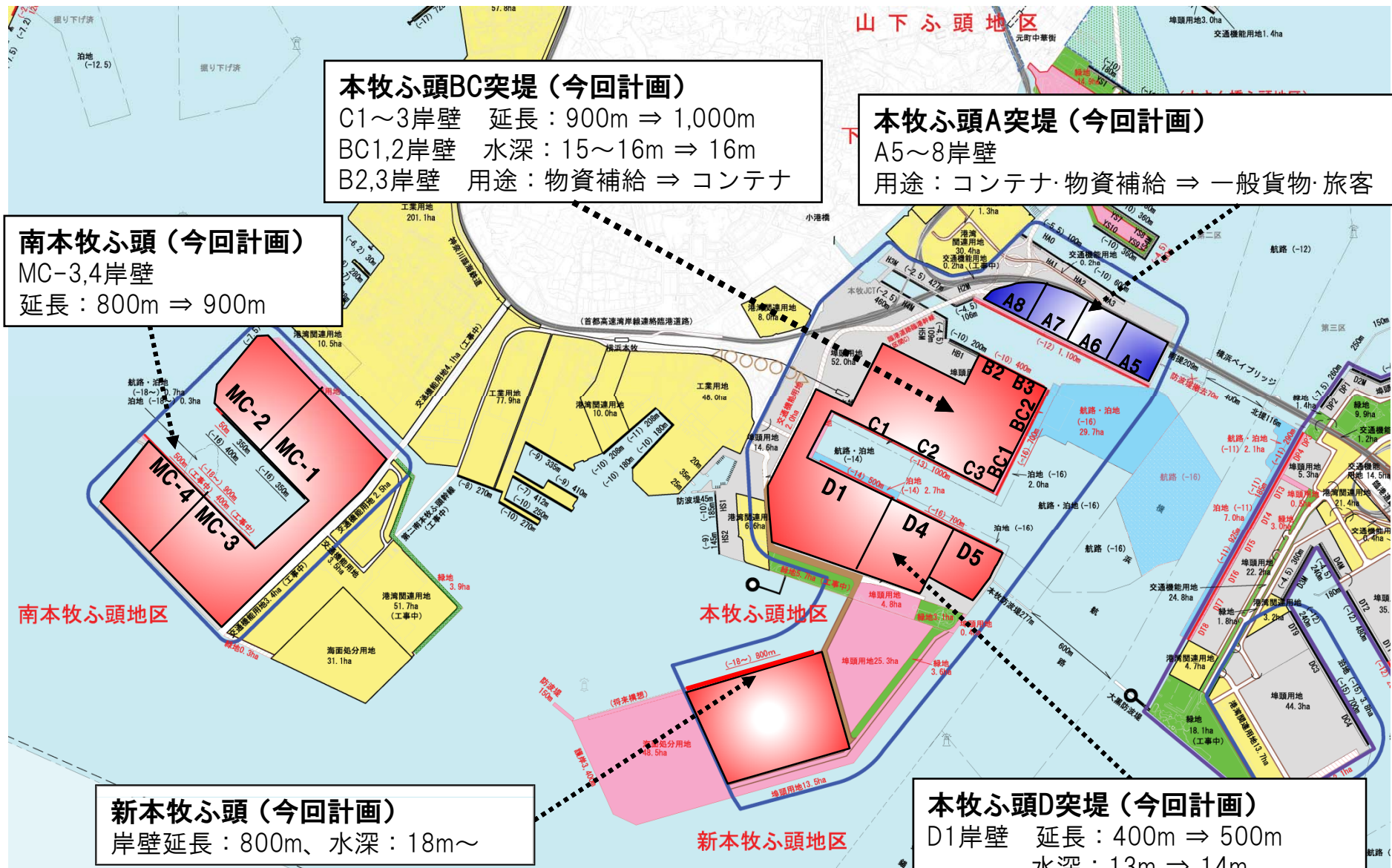
目標年次（平成30年代後半）における取扱貨物量

	取扱貨物量 (万トン)	コンテナ貨物量 (万TEU)
外  貿	11,970	470
内  貿	4,760	50
合  計	16,730	520
(参考)平成25年	11,917	289

※推計の目標年次は平成37年

# I. 国際競争力のある港

## (1) 公共埠頭計画 コンテナ埠頭



**本牧ふ頭BC突堤 (今回計画)**  
 C1~3岸壁 延長: 900m ⇒ 1,000m  
 BC1,2岸壁 水深: 15~16m ⇒ 16m  
 B2,3岸壁 用途: 物資補給 ⇒ コンテナ

**本牧ふ頭A突堤 (今回計画)**  
 A5~8岸壁  
 用途: コンテナ・物資補給 ⇒ 一般貨物・旅客

**南本牧ふ頭 (今回計画)**  
 MC-3,4岸壁  
 延長: 800m ⇒ 900m

**新本牧ふ頭 (今回計画)**  
 岸壁延長: 800m、水深: 18m~

**本牧ふ頭D突堤 (今回計画)**  
 D1岸壁 延長: 400m ⇒ 500m  
 水深: 13m ⇒ 14m  
 D4,5岸壁 水深: 15~16m ⇒ 16m



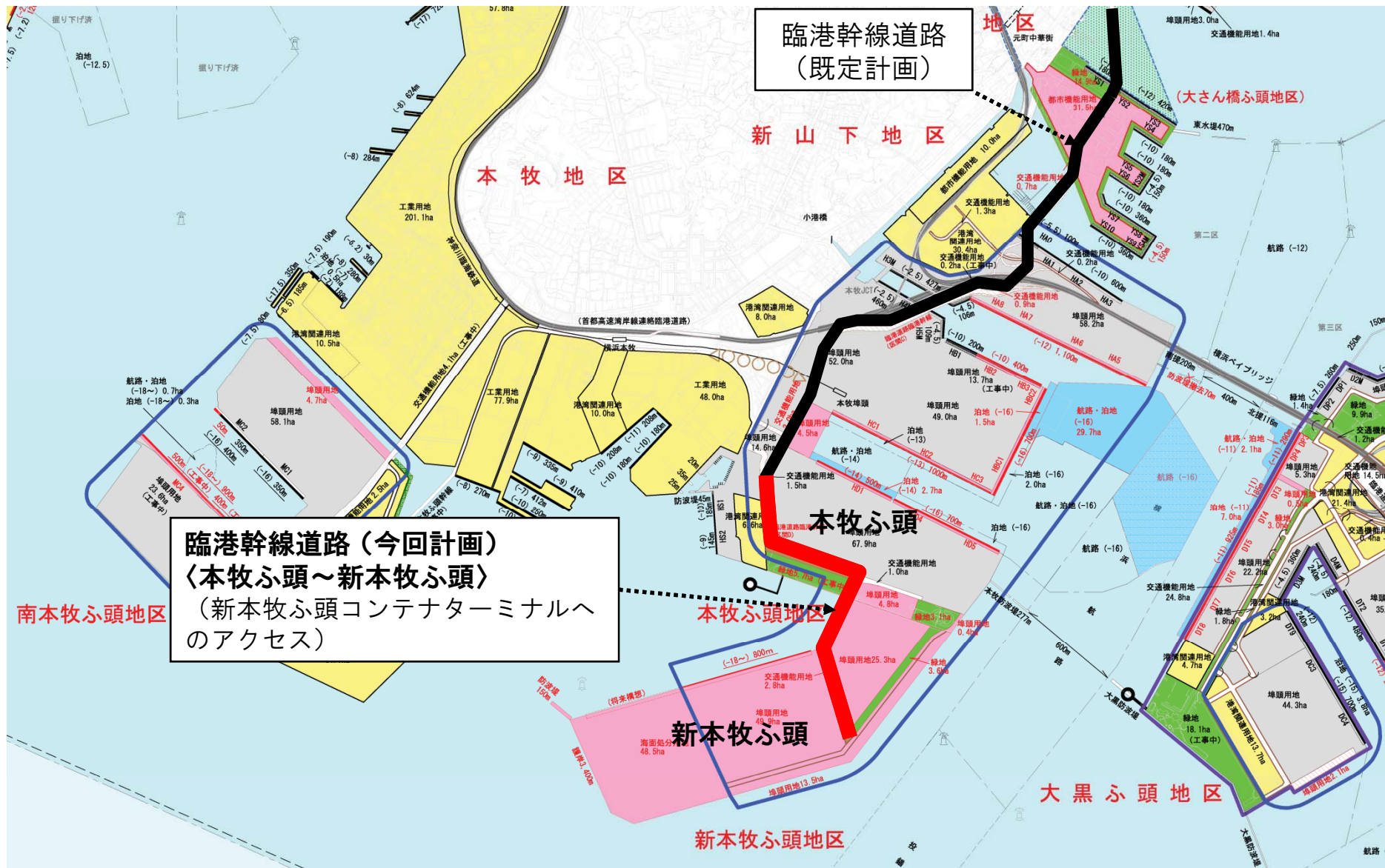
# I. 国際競争力のある港

## (1) 公共埠頭計画 一般貨物等を取扱う公共埠頭



# 1. 国際競争力のある港

## (2) 臨港交通施設計画



**臨港幹線道路 (今回計画)**  
**〈本牧ふ頭～新本牧ふ頭〉**  
 (新本牧ふ頭コンテナターミナルへのアクセス)

**臨港幹線道路 (既定計画)**

南本牧ふ頭地区

本牧ふ頭地区

新本牧ふ頭

大黒ふ頭地区

新本牧ふ頭地区



# 1. 国際競争力のある港

## (3) 国際コンテナ戦略港湾の実現に向けた施策展開

### 国際コンテナ戦略港湾の実現

ハード施策（先進的な施設整備）



主なソフト施策（国内外の貨物を集中させる施策等）

#### ○貨物集荷策の展開

航路新設・強化や、内航・鉄道等の利用促進も含めた民間事業者の貨物集荷に対する支援、ロジスティクス機能の強化

#### ○港湾利用コストの低減

戦略的で柔軟な貸付料の設定、横持輸送費用の低減に向けた取組

#### ○利便性向上策の展開

施設の一体利用の促進、IT化の推進、陸上輸送の効率化

#### ○戦略的なポートセールスの実施

船会社、荷主等への国内外での戦略的なポートセールス

#### ○就業環境の向上策

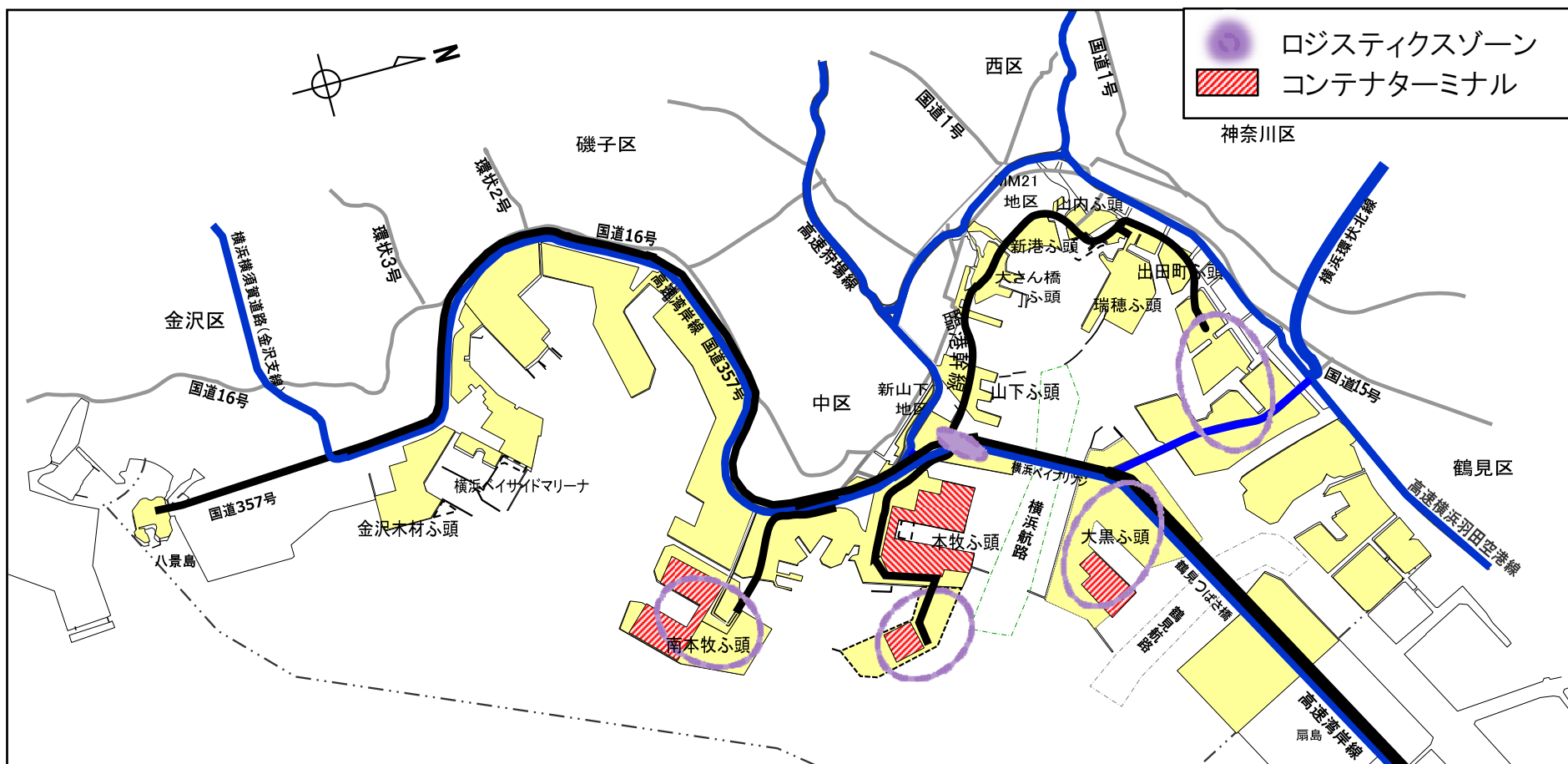
港湾労働者の通勤利便性の向上など、職場環境改善に向けた取組

官民が一体となって取り組み、使いやすい港づくりを推進

# I. 国際競争力のある港

## (4) ロジスティクス機能の強化

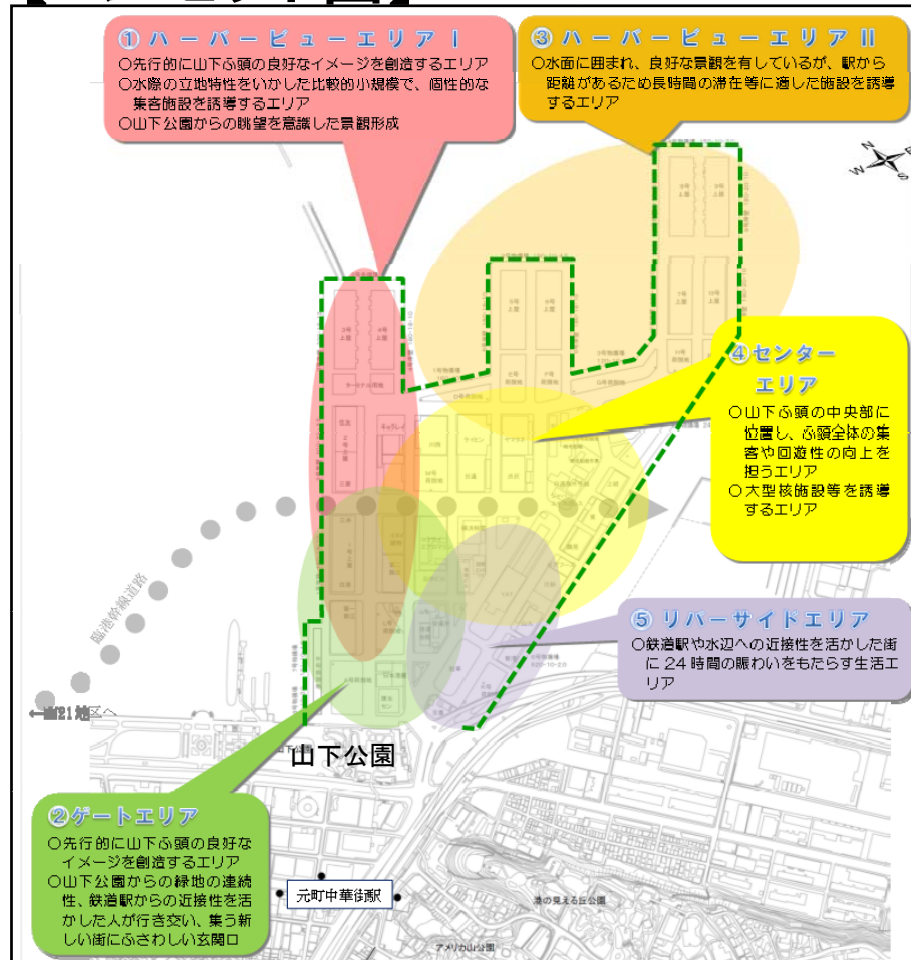
- 輸入機能や中継機能をさらに強化していくため、高度な流通加工機能を有する臨海部物流拠点（ロジスティクスゾーン）を形成
- 物流施設の再編・高度化等に対する国庫補助や無利子貸付などの支援



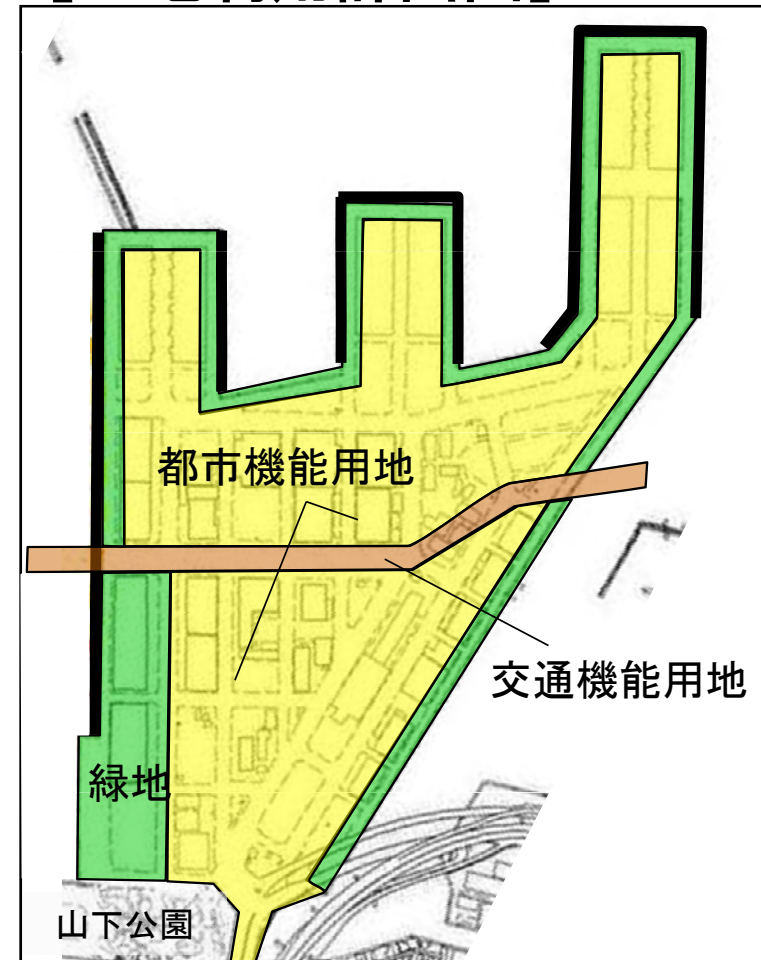
# II. 市民が集い、憩う港

## (1) 山下ふ頭の再開発

【コンセプト図】



【土地利用計画図】

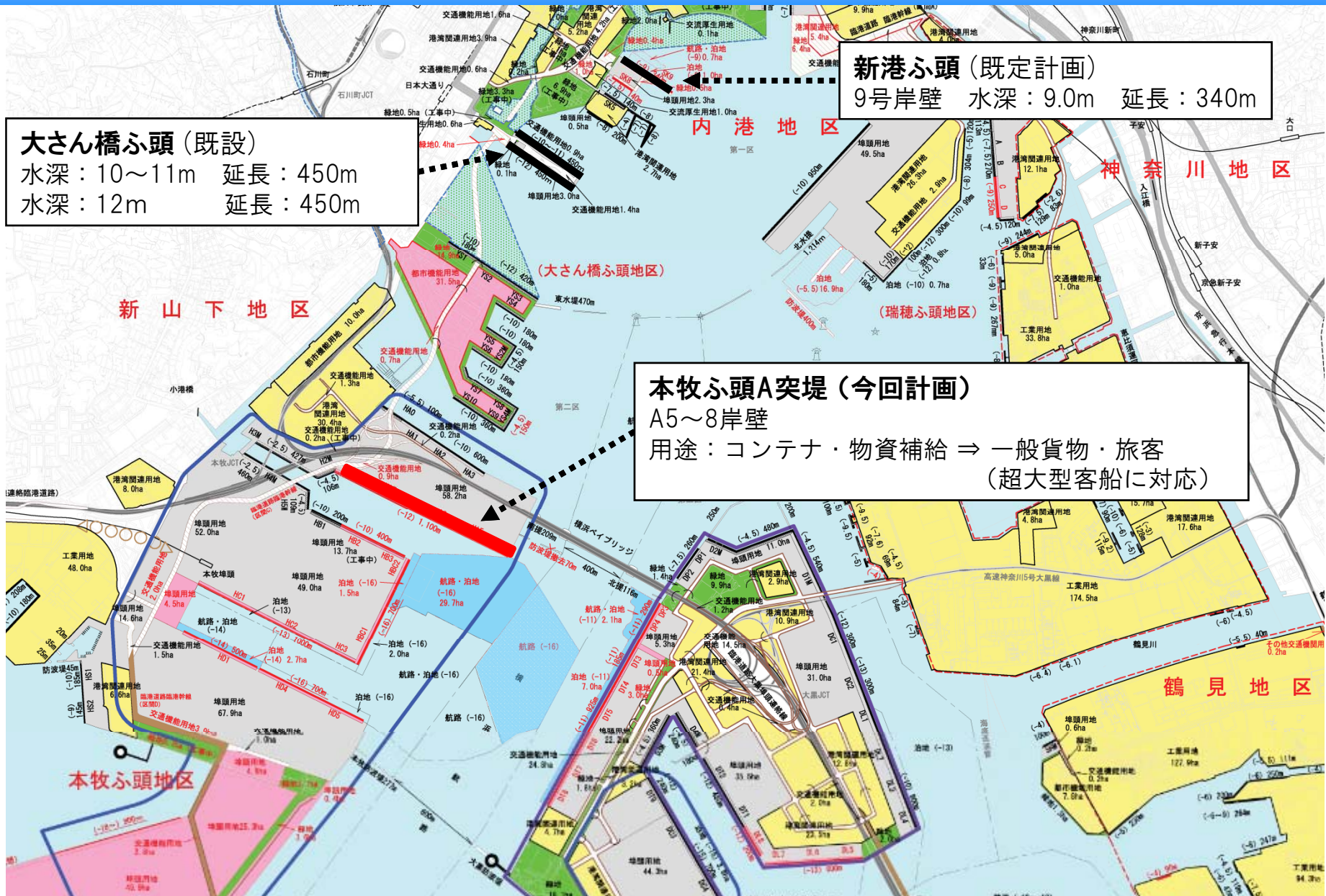


市街地との近接性など、優れた立地特性を活かし、山下公園との連続性を考慮した緑地や水辺のプロムナードの配置、大規模で魅力的な集客施設等の導入が可能となる土地利用へ転換



# II. 市民が集い、憩う港

## (2) 旅客船埠頭計画



**大さん橋ふ頭 (既設)**  
 水深：10～11m 延長：450m  
 水深：12m 延長：450m

**新港ふ頭 (既定計画)**  
 9号岸壁 水深：9.0m 延長：340m

**本牧ふ頭A突堤 (今回計画)**  
 A5～8岸壁  
 用途：コンテナ・物資補給 ⇒ 一般貨物・旅客  
 (超大型客船に対応)





## II. 市民が集い、憩う港

### (3) レクリエーション等活性化水域 〈金沢地区〉

金沢地区はすでに海洋性レクリエーション拠点としての施設整備がされており、今後もイベント等の一層の活性化を図るため、レクリエーション等活性化水域を定める。





# II. 市民が集い、憩う港

## (4) 良好な景観を形成する区域

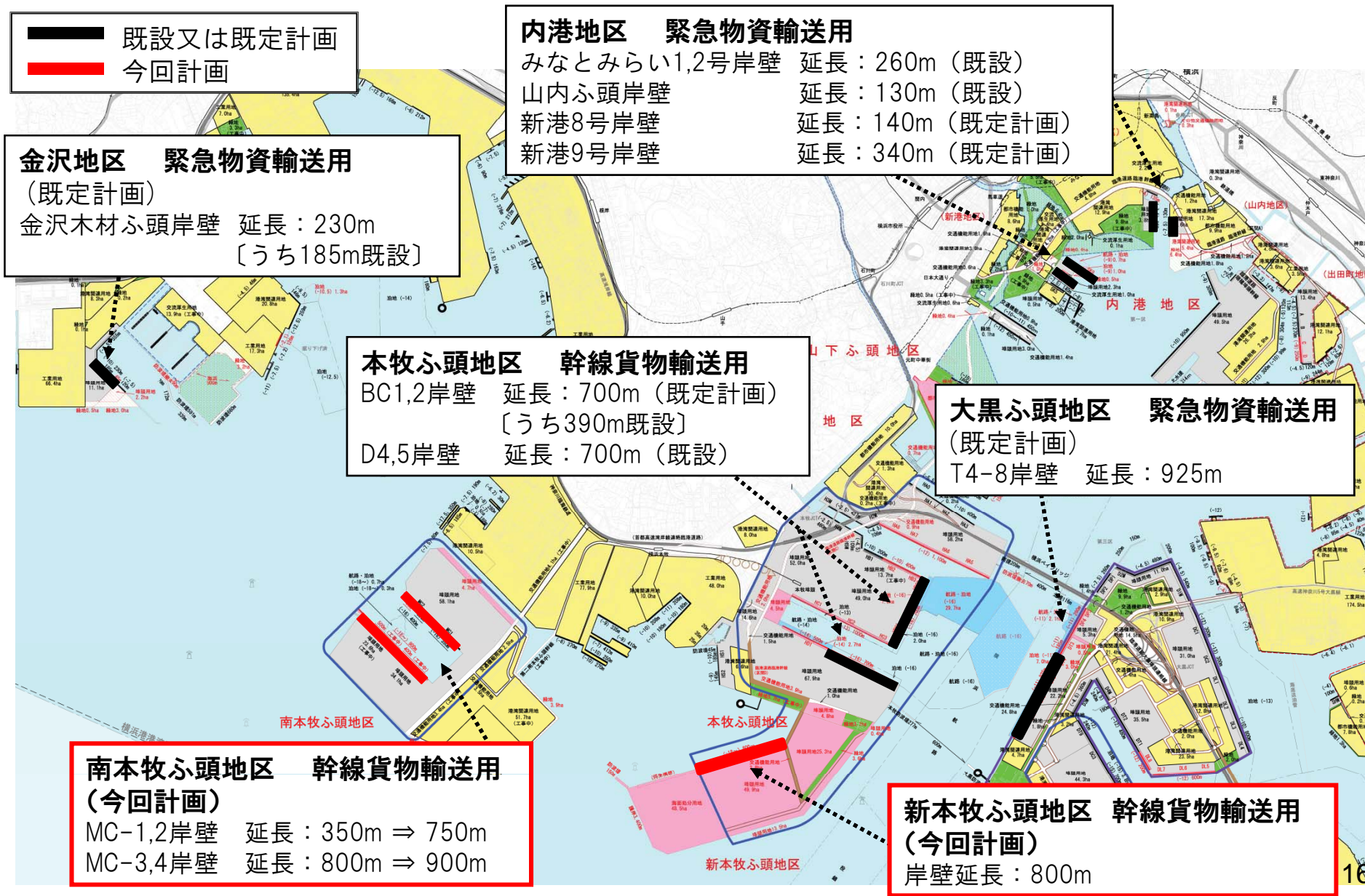
内港地区において、横浜港の歴史を継承し「みなと」の情景を演出するとともに、魅力的で活気あるものとするため「良好な景観を形成する区域」を定める。





# III. 安全・安心で環境にやさしい港

## (1) 大規模地震対策施設計画（耐震強化岸壁の整備）

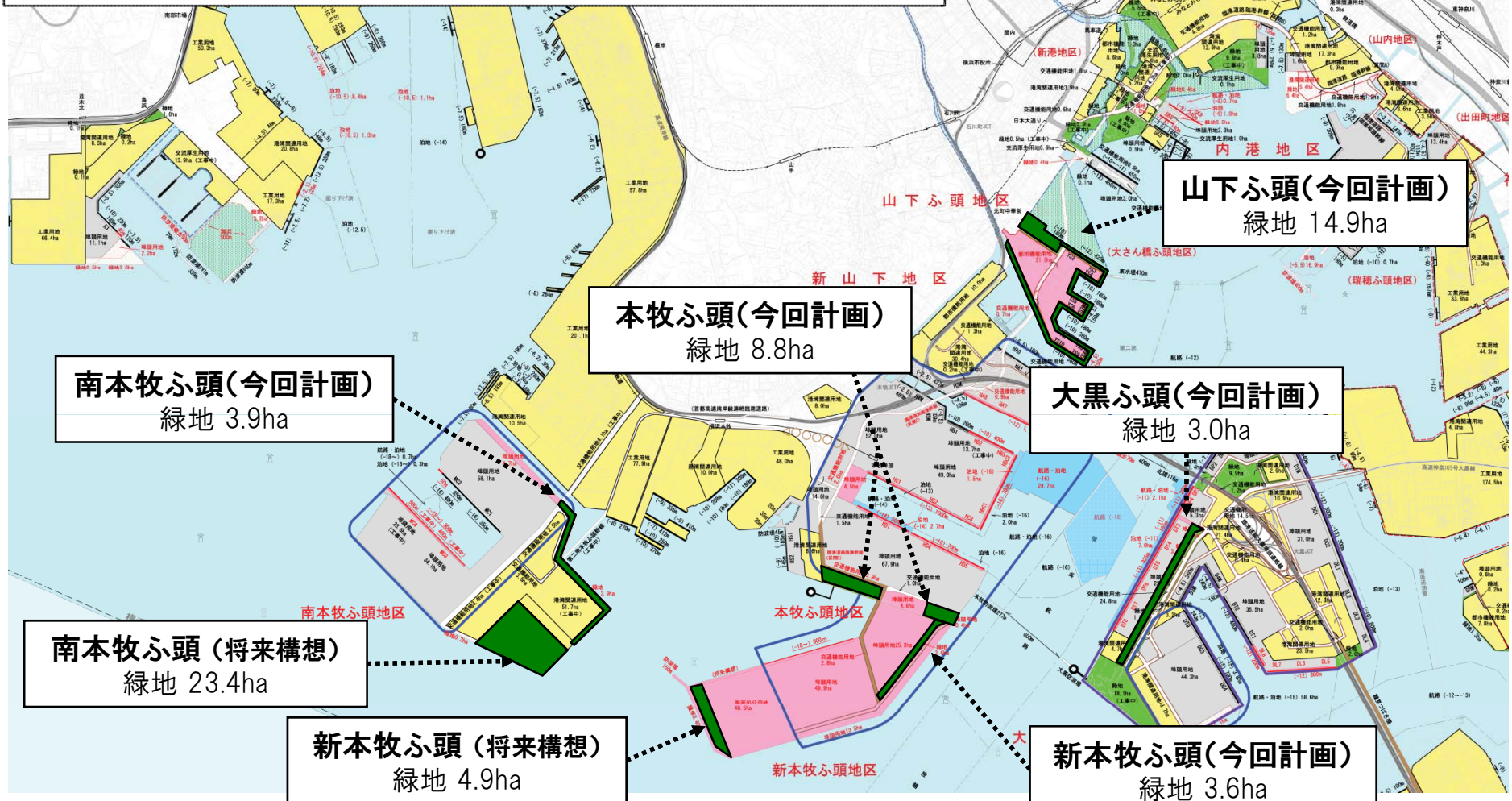




# Ⅲ. 安全・安心で環境にやさしい港

## (2) 港湾環境整備施設計画（緑地の整備）

周辺と調和のとれた緑の環境を形成し、快適な港湾空間や魅力ある親水空間を創出・継承していくとともに、港湾労働者や来訪者の休息の場所を提供するため、緑地整備などを推進する。





# Ⅲ. 安全・安心で環境にやさしい港

## (3) 自然的環境を整備又は保全する区域 〈内港地区〉

内港地区において、水質浄化や生物多様性の保全を推進するため、「自然的環境を整備又は保全する区域」を定める。



# Ⅲ. 安全・安心で環境にやさしい港

## (3) 自然的環境を整備又は保全する区域 〈金沢地区〉

金沢地区において、浅場の造成や藻場の育成など、人と自然が共生する良好な港湾環境の形成を図るため、「自然的環境を整備又は保全する区域」を定める。

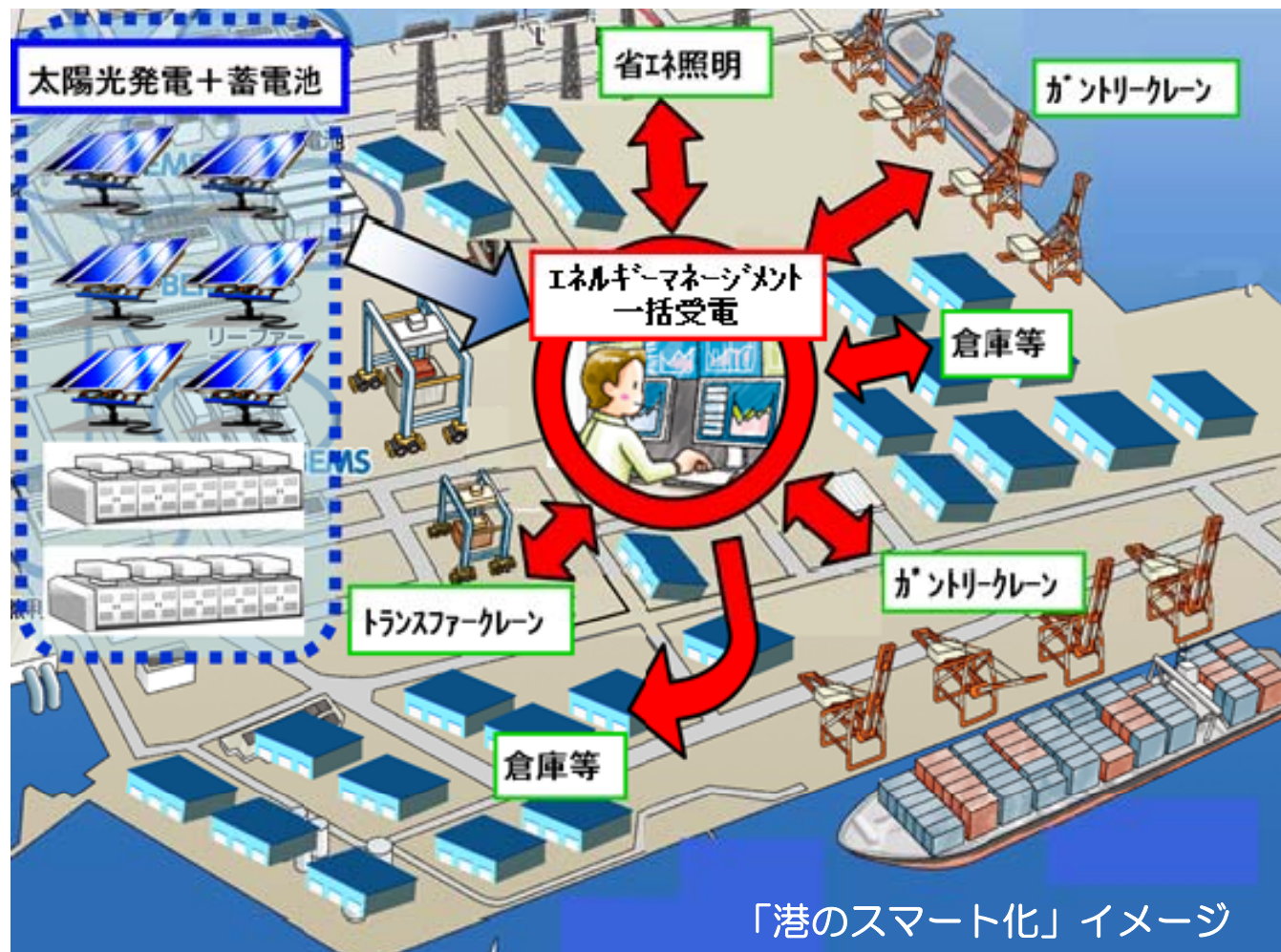




# Ⅲ. 安全・安心で環境にやさしい港

## (4) 港のスマート化

- 現在、倉庫・コンテナターミナル関係者の皆様のご協力をいただきながら、港における電力の使用状況調査を実施
- 調査結果を踏まえ、埠頭における一括受電の導入、災害時等の事業継続性確保に向けた太陽光発電や蓄電池等の導入、エネルギーマネージメントの構築を検討

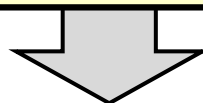




# 今後の予定

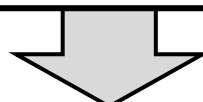
今 回

横浜市港湾審議会



平成26年11月（予定）

交通政策審議会 港湾分科会



平成26年12月（予定）

横浜港港湾計画改訂 公示